

1930年創業高圧ガス容器用黄銅バルブのパイオニア・株式会社ネリキ

BBBのマークは、絶対の品質の証

第49回
日本銅センター賞受賞

「夏はやっぱり生ビール！」と喉を潤されているみなさん、そのビールサーバーに付設された緑色のポンペに取り付けられた黄銅製のバルブをよく見ると「BBB」の文字が刻まれているのをご存知だろうか。これは、日本の高圧ガス容器用黄銅バルブのパイオニア「株式会社ネリキ」のトレードマーク。(株)ネリキは、「高圧ガス保安法」という厳しい条件の下、黄銅の特性を生かし、産業用や医療用など、様々な分野のユーザーの期待に応えたオリジナル製品を幅広く国内外に送り出している。

日本初のアセチレン容器用黄銅製バルブ開発に挑んだ理由

「日本最初の黄銅製のアセチレン容器用バルブ。世界で初めて炭酸ガスの残量をわかりやすく表示したバルブ。さらに逆止弁付きでガス充填の省力化、品質を高めたバルブ」など。(株)ネリキの歩みは、まさに日本の高圧ガス容器用黄銅バルブ



左から「日本最初の黄銅製のアセチレン容器用バルブ」「世界で初めて炭酸ガスの残量をわかりやすく表示したバルブ」「逆止弁付きでガス充填の省力化、品質を高めたバルブ」

黄銅製のパーツを



材料の黄銅棒



バルブを構成する部品、黄銅製の安全弁ナット



切削加工前のバルブボディ

ロボットで省人化された工作機械で精密に加工



緻密に計算し尽くされた加工プログラムにより、精巧で均質な切削加工を実現。何台ものロボットが、小気味良いテンポで次々と黄銅製のバルブボディを供給している

の歴史そのものだ。そのあくなきチャレンジ精神は、どこからきているのか。
兵庫県神戸市西区のハイテクパーク内にある同社の神戸工場を訪ね、代表取締役社長の長 敏孝氏、取締役営業部長の市坪 篤氏、取締役製造本部 生産管理部長の石井 昭二氏にお話を伺った。
「1970年当時、産業用のアセチレン容器用バルブには、他社の鉄製バルブが採用され、当社が食い込むことは難しい状況でした。そこで先代社長の長 則雄が着眼したのが、欧州で主流の黄銅バルブでした。」

「これを自分たちの手で開発・製造しよう。本当に必要なとされる優れた品質の製品を作り出せば、きっと受け入れられるはず」。そんな意気込みで製品開発に挑戦したと、先代社長より聞いています。
黄銅でアセチレン容器用バルブを作る際、当時どんな課題があったのだろうか。「アセチレンガスを詰めた高圧ガス容器のバルブに黄銅を使うと、アセチレンと銅が反応して爆発の危険がある。それを懸念する声がありました。そこで当社は、黄銅の銅含有率に関する欧州の基準を

高圧ガス容器用黄銅バルブのパイオニア「株式会社ネリキ」

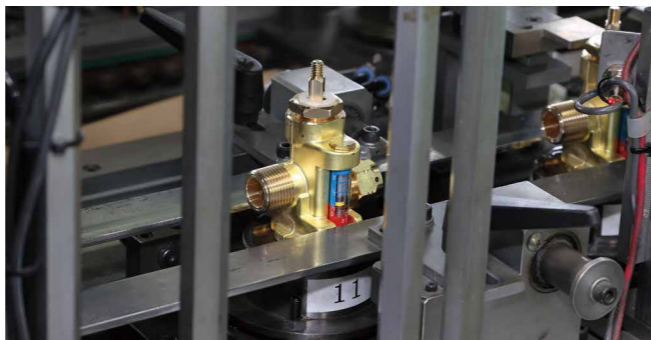
引用し銅の含有率60パーセント以下にすることで、安全性を確保しました。さらに黄銅は鉄よりも量産化が容易で、最終的に安価で提供できます。これらのメリットをアピールすると、黄銅バルブを求めているお客様が一気に増えていったのです。
現在も産業用製品は、(株)ネリキの売上の柱である。さらに(株)ネリキの実力は幅広い分野で評価され、消防、消火設備、医療用、冷媒用などにも採用されている。中でも炭酸飲料用バルブは、大手ビールメーカー4社や地ビールメーカーから注文を受けるまでになつているという。

世界基準の品質を満たし、厳しい法規制内でどこまでお客様の要望を盛り込めるか

「我々が販売するのは、商品ではなく品質である」。そんな創業時から信念をモットーに、(株)ネリキは製品の企画から設計、素材調達、試作、加工、洗浄、組立、検査、出荷・納入まで、長年にわたり独自のノウハウを蓄積してきた。

「当社は、1970年に高圧ガス容器弁における初の日本工業規格表示許可工場になりました。その後も拡張を重ね、産業用高圧ガス容器用バルブの生産工場としては、国内最大規模となっています」。さらに、お客様からの信頼に応える高い品質をキープしながら、量産化を実現するため、工場では、最新鋭のロボット化、オートメーション化を進めてきた。工場の中に入ると、数種類のロボットが滑らかな動きで、次々と黄銅バルブボディの切削加工作業を進めている。このボディに、

組み立てた全製品に、厳しいテストを



でき上がった各パーツは、入念に洗浄した後、正確かつ効率的に量産できるオートメーション化されたラインで組み立てられていく



組み立てられた製品は全数検査している

絶対の品質を誇る「BBB」ブランドに



絶対の安全性・品質をクリアした製品が「BBB」のブランド名を冠する



新技術を盛り込み開発した「ISS実験用容器バルブ」



残量表示機能を付けた「EYEシリーズ」は、(株)ネリキの代表作

黄銅製の安全弁ナットと純銅板を組み合わせて、より高い安全性を確保している。「法律が求める試験圧力をかけ、全製品を気密検査し、品質を担保しています。私たちは、EU諸国をはじめ世界的な品質保証システムISO 9001の認証も取得し、BBBバルブは世界基準の品質を誇っているのです。
高圧ガス容器用バルブは、高圧ガス保安法」の適用を受ける。その制約の中でどれだけお客様の求める機能を盛り込むことができるか。まさに限界とのせめぎ合いとなります。その時、頼りになるのが黄銅の加工性や耐食性などの取り扱いの良さなのです」と三人は語る。
「目標の達成はゴールではなく、新たな挑戦へのスタートに過ぎない。この創業者の言葉は、まさに(株)ネリキの企業姿勢そのものだ。そんなBBBブランドを支える素材として、これからも選ばれ続けるように、黄銅の可能性を追求していきたい。」



左から 取締役 営業部長 市坪 篤 氏、
代表取締役社長 長 敏孝 氏、
取締役 生産管理部長 石井 昭二 氏